



## 2023年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年4月12日

上場会社名 株式会社カワサキ

上場取引所 東

コード番号 3045 URL <https://www.kawasaki-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 久典

問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 池田 喜章

TEL 072-439-8011

四半期報告書提出予定日 2023年4月12日

配当支払開始予定日

2023年5月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年8月期第2四半期の業績(2022年9月1日～2023年2月28日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第2四半期	751	7.2	117	33.3	119	34.0	76	53.7
2022年8月期第2四半期	809	3.6	176	5.7	180	2.3	164	58.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第2四半期	35.51	
2022年8月期第2四半期	76.72	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第2四半期	7,005	5,269	75.2
2022年8月期	6,825	5,258	77.0

(参考)自己資本 2023年8月期第2四半期 5,269百万円 2022年8月期 5,258百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期		20.00		30.00	50.00
2023年8月期		20.00			
2023年8月期(予想)				20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年8月期の業績予想(2022年9月1日～2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,613	5.8	261	15.5	262	7.1	173	78.3	80.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年8月期2Q	2,901,000 株	2022年8月期	2,901,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年8月期2Q	752,260 株	2022年8月期	752,260 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年8月期2Q	2,148,740 株	2022年8月期2Q	2,148,740 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、各種行動制限が緩和され景気に緩やかな持ち直しの傾向が見られた一方で、ロシアのウクライナへの侵攻等による資源価格の高騰、金融資本市場の変動を発端とした円安進行による物価上昇で消費者の節約志向が強まるなど、依然として先行きが見通せない状況が続いております。

このような状況下、当社の服飾事業におきましては、長引く新型コロナウイルス感染症の影響や物価高により国内の個人消費は低迷しており、業績への影響を受けております。しかしながら、在庫の削減もひと段落したことで、新商品の開発、さらには実店舗での販売準備を慎重に進めて黒字化を目指し取り組んでおります。また、賃貸倉庫事業におきましては、引き続き稼働率は高く業績は底堅く推移しております。また、新倉庫（カワサキテクノプラザ）の建設は順調に進んでおり、2023年4月の本稼働を予定しております。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は売上高が751,547千円（前年同期比7.2%の減少）、営業利益が117,751千円（前年同期比33.3%の減少）、経常利益が119,002千円（前年同期比34.0%の減少）、四半期純利益76,305千円（前年同期比53.7%の減少）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (服飾事業)

当事業部門におきましては、販売品目の整理等により利益体質の強化を図りましたが、節約志向の高まり等を受けて売上高は287,096千円（前年同期比9.9%の減少）、営業損失が1,828千円（前年同期は営業利益16,038千円）となりました。

#### (賃貸・倉庫事業)

当事業部門におきましては、天理倉庫の売却による売上高の減少、新倉庫の（カワサキテクノプラザ）建設に伴う先行費用の発生はあったものの、業績は安定して推移しました。その結果、売上高は464,451千円（前年同期比5.5%の減少）、営業利益は119,579千円（前年同期比25.5%の減少）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、前事業年度末に比べて118,619千円(12.5%)減少し、833,566千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が157,338千円減少し、商品及び製品が73,345千円増加したことによるものであります。

#### (固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、前事業年度末に比べて298,295千円(5.1%)増加し、6,172,007千円となりました。この主な要因は、建設仮勘定が398,452千円増加し、建物及び構築物が82,169千円減少したことによるものであります。

#### (流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、前事業年度末に比べて95,393千円(20.2%)減少し、376,631千円となりました。この主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が23,640千円、未払法人税等が71,593千円減少したことによるものであります。

#### (固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、前事業年度末に比べて263,226千円(24.0%)増加し、1,358,966千円となりました。この主な要因は、長期借入金が214,800千円、その他が51,443千円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べて11,843千円(0.2%)増加し、5,269,976千円となりました。この主な要因は、四半期純利益を76,305千円計上したものの、配当による減少64,482千円があったことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べて157,338千円(25.4%)減少し、461,995千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前四半期純利益117,717千円、減価償却費100,290千円、棚卸資産の増加額70,816千円等により、当第2四半期累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは117,555千円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出398,452千円があったこと等により、当第2四半期累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは401,630千円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入れによる収入300,000千円、長期借入金の返済による支出108,840千円、配当金の支払額64,482千円等により、当第2四半期累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは126,677千円の収入となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年10月13日に公表いたしました数値から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	619,333	461,995
受取手形、売掛金及び契約資産	38,979	52,702
商品及び製品	175,461	248,806
原材料及び貯蔵品	32,582	30,053
その他	86,622	40,105
貸倒引当金	△792	△96
流動資産合計	952,186	833,566
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,998,525	1,916,355
機械装置及び運搬具（純額）	235,326	221,216
土地	2,571,366	2,571,366
建設仮勘定	614,129	1,012,582
その他（純額）	13,273	9,681
有形固定資産合計	5,432,622	5,731,203
無形固定資産	20,344	21,067
投資その他の資産	420,745	419,736
固定資産合計	5,873,712	6,172,007
資産合計	6,825,898	7,005,574

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,722	23,912
1年内返済予定の長期借入金	181,390	157,750
未払法人税等	110,142	38,549
賞与引当金	1,102	1,453
その他	174,667	154,965
流動負債合計	472,025	376,631
固定負債		
長期借入金	449,600	664,400
役員退職慰労引当金	8,816	5,216
資産除去債務	223,439	224,022
その他	413,883	465,327
固定負債合計	1,095,740	1,358,966
負債合計	1,567,765	1,735,598
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300	4,300
資本剰余金	1,025,937	1,025,937
利益剰余金	4,703,112	4,714,955
自己株式	△475,216	△475,216
株主資本合計	5,258,133	5,269,976
純資産合計	5,258,133	5,269,976
負債純資産合計	6,825,898	7,005,574

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年9月1日 至2022年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自2022年9月1日 至2023年2月28日)
売上高	809,965	751,547
売上原価	450,284	457,159
売上総利益	359,680	294,387
販売費及び一般管理費	183,200	176,636
営業利益	176,480	117,751
営業外収益		
協力金収入	980	-
受取手数料	2,378	1,118
受取家賃	600	996
その他	484	1,694
営業外収益合計	4,443	3,809
営業外費用		
支払利息	648	2,074
その他	13	483
営業外費用合計	662	2,558
経常利益	180,262	119,002
特別利益		
圧縮未決算特別勘定戻入額	69,547	-
特別利益合計	69,547	-
特別損失		
固定資産売却損	-	1,285
特別損失合計	-	1,285
税引前四半期純利益	249,809	117,717
法人税、住民税及び事業税	69,888	37,359
法人税等調整額	15,079	4,053
法人税等合計	84,968	41,412
四半期純利益	164,841	76,305



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	249,809	117,717
減価償却費	112,758	100,290
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	396	△695
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14	351
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△5,200	△3,600
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	648	2,074
為替差損益 (△は益)	△13	△57
有形固定資産除売却損益 (△は益)	-	1,285
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,827	△13,723
棚卸資産の増減額 (△は増加)	22,131	△70,816
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,874	19,190
その他	△80,930	76,369
小計	293,633	228,384
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△648	△1,877
法人税等の支払額	△36,370	△108,952
営業活動によるキャッシュ・フロー	256,614	117,555
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△243,396	△398,452
有形固定資産の売却による収入	-	227
無形固定資産の取得による支出	-	△2,654
差入保証金の差入による支出	△267,557	△750
投資活動によるキャッシュ・フロー	△510,954	△401,630
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	700,000	-
長期借入れによる収入	-	300,000
長期借入金の返済による支出	△130,550	△108,840
配当金の支払額	△80,557	△64,482
財務活動によるキャッシュ・フロー	488,892	126,677
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	57
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	234,565	△157,338
現金及び現金同等物の期首残高	161,504	619,333
現金及び現金同等物の四半期末残高	396,070	461,995

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期損益 計算書計上額
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	318,494	491,470	809,965
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	318,494	491,470	809,965
セグメント利益	16,038	160,441	176,480

(注) セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期損益 計算書計上額
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	287,096	464,451	751,547
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	287,096	464,451	751,547
セグメント利益又は 損失(△)	△1,828	119,579	117,751

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

当社は、2023年3月8日開催の取締役会で、株式会社フラット・フィールド・オペレーションズ社との間で締結していたホテルレイクアルスターの不動産賃貸借契約について、終了することを決議しました。

1. 契約解除の理由

契約先から不動産賃貸借契約解約の申込のため

2. 契約の相手先の名称

株式会社フラット・フィールド・オペレーションズ

3. 契約解除の時期

2023年3月31日

4. 契約の内容

不動産賃貸借契約

5. 契約解除による影響

当社は、株式会社フラット・フィールド・オペレーションズ社とホテルレイクアルスターについて不動産賃貸借契約を締結し、同社がホテルの営業を行っておりましたが、この契約終了にともない、2023年4月1日より、当社がホテルレイクアルスターを直営化しています。なお、本件が当期の財務諸表に与える影響につきましては、精査中でありませ